



高南地区

社協だより

編集・発行 52 号
高南地区
社会福祉協議会

愛ちゃん と 希望くん



共同募金シンボルマーク

地区社協目標

- ◎ 安心して暮らせる
- ◎ 共に暮らせる
- ◎ 支えあえる
- ◎ 潤いのある

福祉のまぢづくら

友愛の里サロン会 須沢

朝九時頃、サロンの準備で一人二人と集会所に集まり始める。お茶会の準備をする人は台所で早くから動く。百歳体操をするため手押し車や杖を突きながら三々五々集まり、にぎやかな挨拶が飛びかう。これが毎週水曜日朝の様子です。ひとしきり賑やかな情報交換が行われ十時から体操が始まる。毎回二十五名くらいの出席で集会所はにぎわう。いつものように簡単な体操が高齢者には結構ハードな体操だ。

やとと体操が終わり、今度はお待ちかねの、お茶しながらのお喋りタイム。「豪雨災害」「振り込め詐欺」「交通事故」「近所の様子」とどまることがない。「今日はだれだれさんが来てないね」「よりさらに話が進む。「あんたはだれだれさんを知らんか」「電話しようか」「行ってみようか」。だれも指示しないのに皆がこの人を気づかかってあげる。見守り活動が始まる。自然と地域の方への気配りははじまる。

月に一回、サロン有志の手作り料理で会食。その後ゲーム、カラオケ、講演で時間を過ごす。

広島市の「地域介護予防拠点」の推進に伴い補助金を受けている。プロジェクト、椅子、敷物とサロンのための必要な品物を購入している。これらの備品によってサロン活動が今の活性化につながっている。「最近歩く力が強くなった」「週一回行く所が出来て楽しみ」と感想も聞かれる中、声を掛け合い、集

「友愛の里サロン会 須沢」です。

代表 河野 雅江

共助で高めよう

地域力

高南地区社会福祉協議会

会長 坂本 哲郎



初春のお慶びを申し上げます。

昨年七月の豪雨において被災をされました皆様に、お見舞いを申し上げますと共に、酷暑の中での復旧・復興支援ボランティア活動参加に対し、献身的にご協力を頂きました自治会連合、各自治会長様はじめ各種団体・ボランティアスタッフ・地域ボランティアの皆様から心から厚く御礼申し上げます。

地区復興ボランティアセンターを開設し、多くの住民の身近な復興支援活動が、被災された方々にとって大きな力になることを体験致しました。

「地域力を高める共助活動」の大切さを、一人でも多くの方にご理解いただき、ボランティアスタッフとして、積極的に活動にご参加頂きますようお願い致します。

これからも、皆様のご支援、ご協力、ご助力を頂きながら「安全で、安心な福祉のまちづくり」を進めてまいります。最後になりましたが、本年も皆様のご健康とご多お祈り申し上げます。

昨年七月の豪雨災害状況

昨年七月六日夕方からの豪雨は西日本を中心に多くの被害が発生しました。

これまで経験したことのない恐怖と戸惑いを感じた方が多くあると思います。高南地区は昭和四十年六年以来(五十四年振り)の大きな災害に合いました。「災害は忘れた頃にやってくる」と言いますがまさにその通りです。

こうした中で、七月九日避難指示が出ている中で戸惑いのなか社協事務所に、「災害ボランティアセンター」を立ち上げ自治連、各種団体の御協力のもと災害復興・復旧支援活動を行いました。

各地より多くのボランティアが集まり、遠くは滋賀県からの作業道具をそろえた十三名の参加があり、大きな力を発揮していただきました。また安佐北社協を通じて安佐北区九社協からも【可部地区災害時のボランティアの恩返し】にと多くの皆さんが参加して頂きました。

地区内外のボランティアは勿論のこと、今回の災害で一時休校になった白木中学校からも復旧に力を貸していただきました。服装から装備に至るまでボランティアに徹した皆さんの力は、地元ボランティア受け入れ態勢が整わない中で心強いものでした。

七月、八月の二ヶ月間ご協力を頂いた可部地区社協三百五十三名、一般百八十六名、地元三百名強の総勢八百余名のボランティアの皆様に対し心より厚く御礼申し上げます。

高南社協では今回の甚大な被害状況を精査し「災害発生から復興支援対応マニュアル」を作成しました。マニュアルは皆さんのお手をお借りしてより現実的なものにする必要があります。

大切な一人ひとりの命を住民共助の力で対応できることを願っています。

どうぞ皆様のご理解ご協力の程宜しく申し上げます。





復旧活動にと、国交省から頂いた



- ひとり暮らし高齢者の集い
- 一 開会挨拶 高南地区社協会長
 - 二 見守りサービス JP 日本郵便
 - 三 ふれあい活動 高南保育園 園児の皆さん
 - 四 吹奏楽演奏 白木中学校吹奏楽部の皆さん
 - 五 孫酒 調理学士 藤原 隆子
 - 六 食事 高南地区女性の皆さん
 - 七 頭と体の体操 白木包括支援センター 白木の皆さん
 - 八 閉会挨拶 高南地区社協副会長



ひとり暮らし高齢者の集い

十二月一日(土)白木公民館でひとり暮らし高齢者の方四十三名を招いて開催した。開催にあたり高南地区民児協の皆さんには高齢者の参加呼びかけを、女性会の皆さんには当日スタッフを含め九十余名の食事を作っていただいた。またボランティアの方には送迎バスの添乗員としてバス乗り降りの補助をして頂いた。白木中学校には吹奏楽演奏はもちろんのこと、高齢者と対面で食事をしてもらいました。いつもは一人での食事が賑やかな華やいだ食事会となりました。高南保育園園児が元気にふれあい活動をしてもらった。白木包括支援センターには食事後に、頭と体を柔軟にする体操をしてもらった。それぞれに感謝です。

共同募金の

ご協力有難うございます。

十月一日から十二月末まで、皆様に共同募金をお願いをしています。

皆様のご厚意が災害復旧に、福祉の向上に役立っています。何かと迷惑をかけますがどうぞ宜しくお願い致します。



高南地区公衆衛生推進協議会より

昨年七月の豪雨災害で多くの方が災害に合いました。お見舞いを申し上げますと共に、皆様の一日もはやい復興を願っています。

三十年度は、豪雨災害のためクリーン太田川、献血会その他の行事を中止いたしました。新年早々ですが健康教室を開催します。多くの皆さんに参加いただくようお願い致します。

「みんなで一緒に笑いヨガ教室」

日時 一月二十三日(水)

十三時半〜十五時半

場所 白木公民館 ホール

共催団体

高南地区公衆衛生推進協議会

白木公民館

高南地区女性会

安佐北区健康長寿課

いきいきポイント

1月号公民館だよりにも記載しています

「ふれあいいきいきサロン」を

立ち上げませんか。

高齢化が進む中で、住み慣れた地域で自分らしく健康に暮らしたいものです。

「ふれあいいきいきサロン」は地域を拠点(小集団)にして皆が気軽に集まれる場をつくり仲間づくりを行う場所です。

こうしたサロン活動に安佐北社協と高南地区社協では、初年度のみ助成金制度を設け活動のバックアップを行っています。

あなたの地域でも交流の場「ふれあいいきいきサロン」を立ち上げてみませんか。詳細は高南社協事務所に問い合わせ下さい。電話828・2536
皆さんの周りにもサロンがあります。いちど訪ねてみてください。

友愛の郷サロン会 須沢

横路サロン会 横路

優遊サロン原会 原

ささゆりの会 畑杭

こぶしの会 正木

川角なかよしサロン 川角

いきいきサロン河原 河原

ふれあいサロン 宮迫

ふれあいサロン 小越上

なごみの会 市川

ゆうゆうネット 小越団地

白木台元気会 白木台

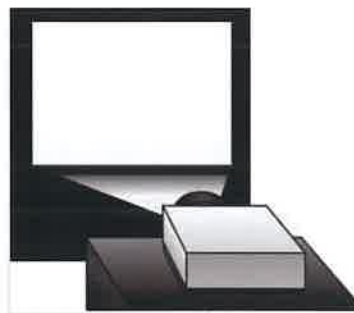
高南地区では現在右記サロンが活動しています。

「プロジェクター」の貸し出し

をしています。

自治会活動、老人会活動、サロン活動等にご利用下さい。

大画面で皆さんにお知らせができることで、ものごとの共有ができます。



いずれも無料貸し出しをしています。申込先は下記へ
高南社協 828-2536 (留電)

「車イス」の貸し出しをし

ています。年間を通じて十件のご利用があります。家庭で、また病院の行き帰りに利用していただけます。



福祉の灯



自 平成三十年七月二十日
至 平成三十年十一月三十日

七月二十日 井上 智子様

七月二十日 渡辺 達夫様

十月十八日 中川 智博様

十一月二十三日 藤井 広紀様

以上の皆様より「福祉事業の活動に役立てて下さい」とご厚志を頂きました。福祉・ボランティア基金に繰り入れ、福祉の向上に役立たせていただきます。皆様の善意に感謝し厚くお礼申し上げます。

豪雨災害復興支援のお礼として

この度、高南地区災害に対し、復興支援のお礼として遠くは佐世保市からまた地区内の数名の方より心あたたまるご厚志を頂きました。厚くお礼申し上げます。福祉・ボランティア基金に繰り入れ福祉の向上に役立たせていただきます。

編集後記

平成三十年は大きな災害がありません。新年度は災害のない平和な年となりますよう祈念致します。今後も社協活動にご協力いただきませうよう宜しくお願い致します。